※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	情報コンテンツ	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	Unity の教科書 Unity 2022 完全対応版 単行本(最新版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報社会で必要とされる様々なコンテンツを作成するための必要な知識や技術を、主体的に学び、表現力を高める。
・実習活動では積極的に取り組み、トライ＆エラーを体験する。

2　学習の到達目標

教育に携わるための探究の見方・考え方を働かせ、情報における実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、情報コンテンツの制作と発信に必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）適切なアプリケーションソフトウェアを選択し、データをコンピュータに取り込んで加工し、デジタルコンテンツをコンピュータで作成できる技能を身に付けるようにする。多面的・多角的な視点から、よりよい情報コンテンツを制作するための知識・技能を身につけ、コンテンツ制作で得た様々な経験を発信する。

（２）複数の情報を結び付けて新たな情報の価値を見出す力を身につけるようにする。情報モラル、情報デザイン等とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、情報発信に見られる課題の把握と問題解決を視野に入れた構想につなげる。考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基によりよい社会の構築のために適切に表現する力を養う。

（３）心豊かな社会の実現のために、情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの活用のあり方について主体的に創造的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	適切なアプリケーションソフトウェアを選択し、データをコンピュータに取り込んで加工し、デジタルコンテンツをコンピュータで作成できる技能を身に付けるようにする。多面的・多角的な視点から、よりよい情報コンテンツを制作するための知識・技能を身につけ、コンテンツ制作で得た様々な経験を発信している。	複数の情報を結び付けて新たな情報の価値を見出す力を身につけるようにする。情報モラル、情報デザイン等とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、情報発信に見られる課題の把握と問題解決を視野に入れた構想につなげる。考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基によりよい社会の構築のために適切に表現している。	心豊かな社会の実現のために、情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションのあり方について主体的に創造的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コンテンツ制作実習①	コンテンツ制作の概要と要求分析	a:文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けている。 b:目的や状況に応じて、コミュニケーションの形態を考え、文字、音声、静止画、動画などを選択し組合せを考えることができる。 c:コンテンツを社会に発信したときの効果や影響を主体的に考え、発信の手段やコンテンツを他者からの評価を元に改善しようとしている。	課題提出	課題提出	観察 提出課題
		コンテンツの企画・制作	a:コンテンツを企画・制作し、様々な手段で適切かつ効果的に社会に発信する方法を理解している。 b:情報デザインに配慮してコンテンツを制作し、評価し改善することができる。 c:コンテンツを社会に発信したときの効果や影響を主体的に考え、コンテンツに様々な工夫をしようとしている。	課題提出	提出課題	観察 提出課題
2学期	コンテンツ制作実習②	コンテンツの検証･改善	a:制作したコンテンツが企画やテーマに沿っているかを客観的に検証することできる。 b:制作したコンテンツの検証結果から改善点を発見し、改善することができる。 c:目的やニーズをしっかりと把握し、検証や改善を主体的にしようとしている。	提出課題	提出課題	提出課題 振り返りシート
		動画･音声などのコンテンツ	a:動画編集や音声編集ソフトウェアなどを用いたコンテンツの制作と発信について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b:情報社会におけるコンテンツの制作と発信に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。 c:情報社会で必要とされる動画コンテンツの創造をめざして自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的に取り組もうとしている。	提出課題	提出課題	提出課題 観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	文書処理・プレゼンテーション実習	文書処理ソフトウェアやプレゼンテーションソフトウェアなどでのコンテンツ作成	a:制作したコンテンツのテーマ・目的などを文書やプレゼンテーションなどでまとめ、正しく伝わるような文章やグラフでまとめることができる。 b:制作したコンテンツのテーマ・目的などを文書やプレゼンテーションなどでまとめ、読む人・聞く人に正しく伝えることができる。 c:自身が制作したコンテンツのテーマ・目的などを正しく伝えようとしている。	提出課題	提出課題	提出課題 観察 振り返りシート
3学期	コンテンツ評価	コンテンツの発信と評価	a:制作したコンテンツを発信し、客観的な評価を集め、評価を正しく分析することができる。 b:コンテンツをWebコンテンツのような距離や対象にとらわれない幅広い発信方法で表現することができる。 c:情報社会で必要とされる幅広い表現力の獲得をめざして自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的に取り組もうとしている。	提出課題	提出課題	提出課題 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度